

畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2018年3月23日
第19号



ご挨拶

畿央大学後援会 会長
前垣 昇司

皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より後援会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

春の訪れがまばゆい季節となつてまいりました。日増しに暖かく、新たな門出に相応しい時節の到来を感じています。

ご卒業されるご子息、ご息女を育ててこられた保護者の皆様には、心よりお祝い申し上げます。入学時の幼い容貌を残した頃から、今立派な社会人として逞しく成長された姿に、在学中の色々な思い出がこみ上げておられることと拝察いたします。

卒業生の皆様は、明日からそれぞれの道へと旅立って行きます。畿央大学の「建学の精神」、「徳をのばす・知をみがく・美をつくる」の理念を常に忘れることなく、畿央大学卒業生・修了生としての誇りと自信を持って、これからの新しい人生の一步を踏み出して行かれることをお慶び申し上げます。今まで育ててくださったご家族や、先生方等多くの方々からの愛情とお力添えを忘れることなく、自分らしさを存分に発揮して、自分の選んだ道を邁進し、ご活躍されることを期待しています。

また、ご入学されます新入生の皆様、保護者の皆様おめでとございます。畿央大学は、経験豊富な先生方が、一人ひとりの心に寄り添いながら「個」に応じた熱心な指導をしてくださる学習環境が整っています。学歌で「求めつづけし希望の光、世界に幸せ伸ばしてゆかん」と歌われているように、将来の夢に向かって努力し、社会に貢献できる人を育成する大学です。新入生は、大学生活に対して大きな希望を胸に、将来の夢を実現するため高い志を持って頑張ってくれることを願っています。

後援会では、今後も学生生活の充実のため必要な援助を行い、学生のチャレンジ精神を応援し、畿央大学の発展に貢献して行きたいと思っております。これからも後援会活動に皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

結びとなりますが、冬木智子先生をはじめ、先生方、保護者の皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げます。

今年は、
7月7日(土)
です!!

平成30年度保護者懇談会・後援会総会を7月7日(土)午後15時30分から18時30分まで冬木記念ホールにて開催する予定です。詳細は、5月末にご案内いたします。是非ご参加ください。

ご挨拶

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学長
冬木 正彦



後援会の皆様には、畿央大学の教育活動に対し日頃から温かいご理解とご支援をいただき誠に有難うございます。

畿央大学で学ぶ多くの学生は、将来は健康や教育の分野で人の役に立ちたい、社会に貢献できるような人になりたいという夢を持っています。子供のころから育ててきたそのような夢をかなえるため、大学での学びの中でそれぞれの夢の実現に向けて「自ら道筋をつけていく」ことが求められます。

大学での学びの中では、専門知識を深くかつ体系的に理解すること、実践的な技術・技能を確実に修得すること、さらに社会で活躍するのに必要な能力を培うことが求められます。

このような学びができるためには、学生一人ひとりが受動から能動へ学びの姿勢を転換することが必要です。さらに、他の人との協働作業により課題解決を行う経験を持つことも重要です。

本学が取り組んでいる海外インターンシップや短期語学留学はこのような体験ができる良い機会です。昨年11月には人間環境デザイン学科3回生の2チームが、台北で開催された「台湾木造住宅の可能形態」設計競技に参加し、2チームとも入賞し1チームは佳作の評価を得ました。参加した学生は、他の参加チームの成果を目の当たりにし、専門知識と技能の修得についての意欲を新たにしています。

このように後援会からいただいているご支援のおかげで本学の学生が海外での活動に参加できる機会を与えられていることに感謝申し上げます。

本学では以前からグループ学習や演習・実習などで学生の能動性を引き出す工夫を行っていますが、学ぶ姿勢の転換には時間がかかります。保護者の皆様方には、ご子息・ご息女の学びの姿勢の変化を見守っていただき、教職員が一体となって進めている畿央大学の教育へのご理解とご支援を引き続きお願い申し上げます。

CONTENTS

ごあいさつ	P 1
健康科学部 理学療法学科	P 3
看護医療学科	P 4
健康栄養学科	P 5
人間環境デザイン学科	P 6
教育学部 現代教育学科	P 7
授業日カレンダー	P 8



感動を体験する 教育を目指して

健康科学部長
健康科学研究科長

金子 章道

畿央大学後援会会員の皆様からは、本学に対し日頃よりご理解とご支援をいただいていることに深く御礼申し上げます。

今年も卒業生たちを送り出す時期になりました。彼らの晴れ姿を見ることは大学に奉職する者としてとても華やいだ気持ちになります。保護者の方々におかれましても同じ思いであろうと拝察し、お祝い申し上げます。入学時にはまだ幼い容貌を残していた学生たちも、これから世の中のためにしっかり働くのだという決意に満ち溢れた大人の顔つきになりました。それを期待しつつ彼らには心から祝福を送りたいと思います。

幼稚園入園の時から数えると卒業生たちはみな約20年近い教育を受けてきました。教育とは何なのでしょう。私は教育の専門家ではありませんが50余年大学教員として教育と研究にかかわってきました。その中で感じたことは若い人たちに感動を経験させることが大変重要だと考えたことです。何かに感動を覚えることで自分の将来像が心の中に芽生えます。小さな子供であれば将来何になるかという夢になりますし、大学生であっても自分が目指す社会人としての姿がより鮮明になるでしょう。

畿央大学の建学の精神に「美をつくる」という一項目があります。「徳をのぼす」、「知をみがく」という項目は他の多くの大学等の精神にもあることですが、「美をつくる」は冬木学園、畿央大学の極めて特徴的な精神だと思います。「美をつくる」とどうなるのか。その美しさに感動することです。美しさとは芸術の分野に限られたことではありません。研究でも仕事でも自分が感動し、周りを感動させることがあるはずで、本学で学んだ卒業生たちが世の中に感動をもたらす人生を送ることができるように祈念しております。

「大人になること」 のむつかしさ

教育学部長
教育学研究科長

前平 泰志



畿央大学後援会の皆様には、常日頃より本学の教育と研究に関しまして、温かいご理解と多大なご協力をいただき、心から厚く感謝申し上げます。

春は、入学と卒業の季節です。本学のキャンパスを飛び立っていく若者や、反対にキャンパスに新しく入ってきてくれる若者たちを見るこの時期は、彼（彼女）らだけでなく、教育の世界に身をおくものにとっても、最も華やかでうれしい季節でもあります。それと同時に、少しハラハラ、ドキドキする不安な気持ちにもなることも事実です。卒業した学生は新しい環境にきちんとなじんでくれるのだろうか、また入学した学生には、満足したキャンパスライフを送ってもらえるだろうか、などなど心配の種は尽きません。おそらく、保護者の方々も、似たような気持ち一晴れやかさと不安感一を持っておられることと拝察いたします。若い人たちがこれから迎える未来は、決してバラ色ではないでしょうが、それでも、なお自ら一人ひとりが悔いのない、生きていることの喜びを感じられる人生を切り拓いてほしいと心から願わざるをえません。畿央大学は、在学中であろうが、卒業後であろうが、そのための支援は惜しみません。

今日、若者はもはや子どもではありません。「18歳選挙権」も実現し、制度上は成人年齢が18歳に引き下げられる時代が、近く到来します。ほとんどすべての大学生が、大人である時代を迎えたのです。大人になることは、本人の自覚に俟つことが大きいでしょうが、その自覚を促すのは、先に大人になった私たちの役目です。「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」という本学の建学の精神は、一人前の大人として求められる格好の羅針盤として、一段と輝きを増すことでしょう。

■ 建学の精神

徳をのぼす

豊かな人間性、コミュニケーション力と
思いやりの心を身につける

知をみがく

科学的認識に支えられた
知性とたゆまぬ探究心を培う

美をつくる

豊かな感受性をもち
創造する力を磨く

■ 畿央大学の歩み

- 2003年 4月 畿央大学健康科学部 開学
- 2006年 4月 教育学部現代教育学科 開設
- 2007年 4月 大学院健康科学研究科 修士課程 開設
- 2008年 4月 健康科学部看護医療学科 開設
- 2009年 4月 大学院健康科学研究科 博士後期課程 開設
- 2011年 4月 大学院健康科学研究科に看護学分野 開講
- 2012年 4月 助産学専攻科 開設
- 2014年 4月 大学院教育学研究科 修士課程 開設

メッセージ

健康科学部
理学療法学科
学科長
庄本 康治



保護者の皆様には日頃より理学療法学科の運営・教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

理学療法士の養成をめぐる最近の政策動向についてご説明します。定期的なカリ

キュラムが見直されてきましたが、2020年度入学生からはより専門性を高めたものになる予定で、その内容が明らかになりつつあります。新カリキュラムでは、総単位数が増加し、臨床実習の内容と場所が変更され、臨床実習指導者の資格が厳格化されました。高齢化進展などに伴い、理学療法士を取り巻く環境が大きく変化しつつあり、栄養学、薬理学、画像学、救命救急、疾病・介護予防、管理学などの科目が新たに必須になる予定ですが、本学では、薬理学以外についてはすでに実施しています。学生を現場で指導する臨床実習指導者は、最低で5年以上の経験を有し一定の研修を終了した者に限定されることになり、今までなかった老人保健施設での長期的臨床実習

も実施されるなど臨床実習時間も増加する予定ですが、従来以上に丁寧な実習指導に取り組んでまいります。

自由民主党政務調査会が平成29年10月にまとめた「総合政策集2017 J-ファイル」では、「リハビリテーション専門職の人材育成を目指して、より高度な大学・大学院での教育を推進し、その専門能力を現場で活用出来る体制を作ります。」と記述されていて、理学療法士を含むリハビリテーション専門職の質の向上の重要性を訴えています。このように、益々期待されている職種ですが、様々な分野で活躍可能な理学療法士を輩出するためにも、建学の精神を礎にして鋭意努力していく所存です。

国家試験への取り組み

4回生の就職活動は、早い人で総合臨床実習中の5、6月頃から開始されますが、大半は実習終了後の8月頃から施設見学を開始し、採用試験を経て年内にほとんどの学生が就職先を決定します。病院からの求人も好調ですが、近年は老人保健施設、訪問リハビリテーション関係などからの求人でも大変好調です。

ところで、理学療法士国家試験は平成28年から出題範囲が拡大し、平成28年は図1に示したように全国合格率が過去最低の74.1%に落ち込みました。平成29年も合格率が低下するであろうと予想していましたが、全国合格率は90.3%まで回復しました。畿央大学では、平成25年からは1名を除く全員が合格し、全国的に突出して良い結果を残しています。これは、図2に示した「理学療法総合演習」という国家試験に特化した科目によって3段階の成績判定を実施し、緊張感を維持出来ることによると考えています。今年は2月25日(日)に72名が近畿大学東大阪キャンパスで受験しました。3年連続の100%合格達成を目標にして教職員学生が一体となり、合格発表日の3月27日(火)を笑顔で迎えることが出来ればと考えています。

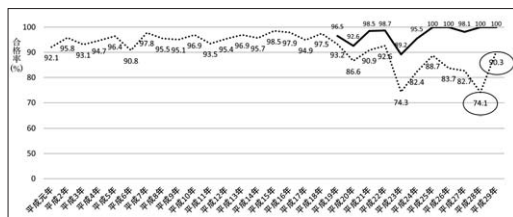


図1 理学療法士国家試験合格者率(実線は畿央大学、点線は全国)

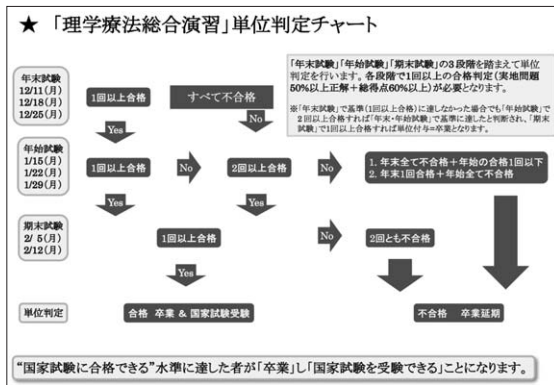


図2 理学療法総合演習の単位認定手続き

日本理学療法学生協会の大会が開催されました ~学生レポート~

2017年12月10日(日)、「痛みと理学療法~知らなきや損する痛みの真実~」のテーマで、畿央大学を会場に日本理学療法学生協会(JPTSA)の関西支部大会が開催されました。関東・中部・近畿・中四国・九州の大学から理学療法士をめざす約80名の学生が集まってくれました。

まず、甲南女子大学の西上先生、畿央大学ニューロリハビリテーション研究センターの大住先生に講演していただきました。西上先生には「Pain Scienceから考える情報リテラシー」のタイトルで、痛みの発生・抑制のメカニズムと痛み

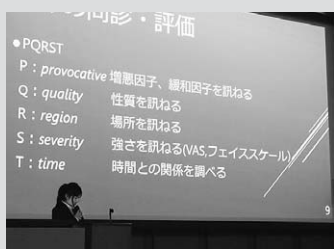
に影響する因子などについて講演いただき、大住先生には「難治性疼痛のリハビリテーション」のタイトルで「複合性局所疼痛群(CRPS)」の特徴とそのリハビリ効果について講演していただ

きました。また、「痛みを知るために」という題で学生発表も行いました。

午前と午後のディスカッションでは、痛みを表す表現についての意見交換を行い、また「態度による印象の良し悪しの認識が患者と健常者では異なる事」を学びました。プログラムが終わった後は、食堂で懇親会を行いました。

畿央大学の運営委員広報担当として2年間活動したことで、先輩・後輩や他大学の友達とも出会うことができました。卒業後も同じ医療者として協力し合える仲間であり続けたいと強く感じました。来年も畿央大学にて支部大会を開催する予定です。次は自分たちが主体となり運営するため、少しばかり不安もありますが来年も皆さんが楽しんでいただけるような支部大会を作りあげていきたいと思っています!

理学療法学科2年生 |



メッセージ

健康科学部
看護医療学科
学科長

河野 由美

後援会の皆様には、本学の教育にご理解と多大なご協力を賜り、心より御礼申し上げます。おかげさまで看護医療学科も開設10年目を迎え、先日、開設記念講演会および第



1回卒業教育研修会を開催することができました。本会では「研究」に関する講演がなされましたが、参加した卒業生からは「仕事をこなすだけでなく、『これって何だろう』という疑問をもって、研究につなげたい」「院内の研究に役立てたい」といった嬉しい感想が聞かれました。

さて全国の私立看護系大学での教員平均在籍年数は4年を下回り、教育の質を保證する上での課題とされております。本学科は幸い教員の在籍年数は長く、責任をもった教育ができる環境にあります。また近年では文部科学省等から、モデル・コア・カリキュラムの導入がすすめられ、看護学研究の必要性と意義が指摘されております。

そのような中、本学の科学研究費採択率は非常に高く、学生数5,000人未満の私立大学では採択件数が全国8位(関西1位)となっております。看護医療学科教員におきましても3人中1人(36.3%)が科研費の研究代表者を務めており、学生にしっかりと研究指導のできる教員がそろっております。

本学で学んだ学生が社会に大きく貢献できるよう、建学の精神を礎としながらも、高い専門性と人間性を備えてリサーチマインドを持ち、研鑽し続けられる専門職の育成を目指し、卒業後のリカレント教育も視野に入れて、尽力していきたいと存じます。今後とも引き続き、皆様のご支援ご鞭撻を願ひ申し上げます。

国家試験・採用試験への取り組み(保健師編)

本学では、平成23年に厚生労働省の保健師教育に関する規則が改訂されたことを受け、保健師資格を取得するために必要な科目を選択して履修する「選択制」となりました。

選択制となったことで、4年生の国家試験勉強に専念したい時期に集中授業や5週

間の実習があり、学生は時間的精神的にも大変な状況となり、絶対合格必須の看護師国家試験勉強が中心にならざるを得ない状況でした。

そこで、平成28年度から看護師と保健師の国家試験両方に合格できるよう保健師国家試験対策講座を実施し、無事全員合格を果たすことができました。

さらに今年度は、卒業生へのアンケート結果を基に、模試回数を減らし、対策講座受講後に模試を受験し効率化を図るシステムとしました。

その結果、最終の1月全国模試では、全員が合格圏内A・B判定となり良い成績を収めることができました。また学生が苦手な状況設定問題

対策講座を本番直前に実施し、苦手意識を克服できるようしました。

採用試験対策では、採用情報収集、エントリーシート書き方助言のほか、専門試験や面接試験での不安を軽減できるよういつでも相談に対応し、採用内定を得るまでの長い道のりでの精神面でのサポートを心がけています。

今年度は、自治体2名、産業保健1名の希望者全員が倍率の高い難関を突破し、採用内定を得ることができました。

今後も保健師を目指す学生の夢を実現できるように支援していきたいと思ひます。



平成29年度卒業研究発表会を開催!

10月7日(土)9:30~16:00、看護医療学科4回生93名が各教員のゼミに所属し半年かけて頑張ってきた「卒業研究」(看護医療学科4年次科目)の発表会が開催されました。

3回生も年明けから卒業研究が開始となるため、実習の間ですが4回生の発表を聴講に来ていました。1つのブロックで参加延べ人数が35名前後、3ブロック同時に行われ、4回生、3回生、教員が聴講し、発表や質疑応答に緊張や笑顔が見られました。

【卒業研究を終えた4回生の声】

約半年間かけて作成した卒業研究の発表が無事終わり、今はほっとした気持ちでいっぱいです。卒業研究を始めたころは、研究計画書の書き方や論文の検索方法もよくわからず、書き終わることができるのか不安に思ひながら進めていました。特に、文献検索のときには、「文献は古すぎないか」「信頼性はあるか」など、選ぶのにすごく苦労しました。しかし、指導教員から詳しく指導していただいたことや、ゼミのメン

バーと集まるたびに不安な気持ちを共有し、時には実習の思い出や就職活動の話などをしながら楽しい雰囲気で作ってこられたことで、最後までやり通すことが出来ました。

また、発表内容を考え、パワーポイントを作成し発表するまですべて1人するのは初めてだったため、発表会の前はみんながすごく緊張しながら準備をしていました。緊張しながらも発表を乗り越えたことで、経験と自信に繋がりました。

また、発表会で他の学生の様々なテーマによる研究や工夫されたパワーポイントでの発表を聞き、新しい知識を得ることが出来ました。卒業研究も終わり、残りの学生生活は国家試験に向けて頑張っていきたいと思ひます!

看護医療学科4回生 Y



メッセージ

健康科学部
健康栄養学科
学科長

小西 洋太郎

平素は保護者の皆様方から本学・本学科の教育に対し多大なご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

今回は私が期待することを書かせていただきます。ご存知のように、本学科のよう



な管理栄養士養成施設では、管理栄養士・栄養士を養成する教育（厚労省）と4年制学士教育（文科省）の2つの学習指導要領に沿った教育をしています。このため、他分野の学部・学科と比べ、卒業に必要な取得単位数は多くなり、学習時間も増えます（本学科の学生は概ねよく勉強していると思います）。しかし、その分だけ大学生活で学ぶ自由度は小さくなります。管理栄養士の資格の取得は現実社会において必ず役に立つでしょう。ただ、資格取得のための学習だけでは、自分を小さくしてしまうのではないかと思います。

最近、ほとんどの大学において「グローバルな人材を育てる」教育が謳われています。本学科の教育内容「栄養」「食」「健康」

はまさにグローバルな分野なのです。現在、世界人口の約8億人が低栄養（飢餓）に、同数の約8億人が過栄養（肥満）に苦しんでいると言われています。肥満は先進国、開発途上国に係わらず、低所得者層にも多く、一概に自己責任だとは言えないのです。こういった現状を考えますと、食に関する高度専門的知識をもつ管理栄養士・栄養士という資格を、国内だけでなく海外で生かしてほしい（たとえばJICA）と思います。“Think globally, and act locally”に留まらずに、“Think globally, and act globally”を志す気骨のある人材が本学科の学生・卒業生から現れることを期待しています（そういう方がすでにおられるかもしれません）。

国家試験への取り組み

今年は3月5日に管理栄養士国家試験が実施され、3月30日が合格発表です。例年の合格発表日は5月上旬でしたが、今年から3月中に合否がわかるようになりました。管理栄養士国家試験は出題範囲が大変広く、4年間で学んだ専門科目ほぼすべてにわたる難易度の高い試験です。この難関に本学からも多くの学生が挑戦しました。



昨年の新卒の全国平均合格率は92.4%となり、その前の年の85.1%から約7ポイント上昇しました。国家試験の全国平均合格率は年により変動しますが、おかげさまで本学は、例年、全国平均を上回る優れた合格実績をあげることができています。既卒者の全国平均合格率は18.4%と、働きながら合格を目指すことは難しくなっており、在学中に万全の体制で試験に臨むことが合格への一番の近道です。

健康栄養学科では、2回生と3回生の学年末に集中講義を行っています。国試に対する意識付けとこれまでの学習の振り返りをねらいとし、最終日には国家試験に必要な基礎力の試験を実施しています。

新4回生の国試対策はスタートしたところです。今年度も引き続き学科の総力をあ



げて取り組んでいます。4回生では週4コマの演習形式の授業を開講します。学内の授業に加えて、学外での国家試験対策講座の受講や学外での模擬試験も受験します。繰り返し模擬試験を実施することで、自身の弱点や実力を確認するとともに試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。また、学内には自習室を設けて、集中して自己学習ができる環境を整えています。

教職員一同、学生のやる気を育むよう、厳しさと暖かさを兼ね備えた指導を心がけ、支援していきたいと思っております。

「かしはら逸品創出プロジェクト」榎原商工会議所・榎原市・畿央大学 産官学連携事業

畿央大学では、榎原商工会議所、榎原市と産官学連携事業を行っています。今年は9年目となり、テーマは「かしはら逸品創出プロジェクト」。これまでの統一した具材を使用した



レシピ開発から榎原市を想い起こさせる新商品・サービス等で販路開拓・地域活性化に結びつける「ふるさと名物」づくりに、健康栄養学科2回生26名の学生が7グループに分かれ、商品開発に取り組みました。（指導教員：松村羊子助教、柴田満助教）

プロジェクトは9月から始まりました。まず、最初に榎原市のことを知るため、榎原市内をバスで回る「視察研修会」を行

い、今井町の散策などを通して榎原市について学習しています。

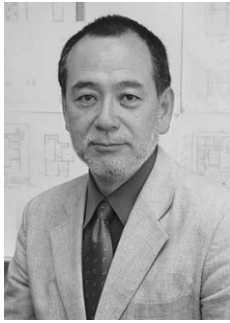
地域のイメージをふくらまし、このプロジェクトに参加している7事業所と学生がマッチ

ングしたあと、事業所と学生が打合せや試作を重ね、商品開発を行いました。日頃の授業とは異なり、販売価格のことも考えながらの実践的な学習を行うことができたようです。



メッセージ

健康科学部
人間環境デザイン学科
学科長
三井田 康記



卒業研究講評会や学期末試験も終わり、学生たちは卒業や新学期を待つばかりとなりました。2月の半ばまで、毎日、徹夜も辞さずに、ゼミ室や研究室で卒業研究や卒業制作に励んでいた4年生も姿を見せなくなり、賑やかだった大学も急に静かになりました。

3月10日(土)、11日(日)には、大和高田市のさざんかホールにおいて、卒業研究・作品

展を開催しました。ついこの間まで幼いと思っていた学生も4年生になり、卒業をいたしました。彼らの4年間の集大成としての卒業研究や卒業制作をご覧いただき、きっと、その成長に驚かれことと思います。

昨年、10月には台湾で開催された学生設計競技にゼミから3チームが応募し、一時審査の結果、2年生と3年生合同の2チーム(8名)が選ばれ、台北まで発表に行ってきました。なれない外国で、しかも英語での発表でしたが、みな堂々と模型やスライドを使って、発表してくれました。最終審査では、そのうちの1チームが見事、佳作に選ばれました。学生の渡航に際しては費用の一部を後援会から御支援いただき、ありがとうございました。

新学期をむかえると、現1年生は、「建築・まちづくりコース」、「インテリアデザインコース」、「造形デザインコース」の3つの

コースに分かれ、より専門的な勉強が始まります。授業の中にも演習や実習を多く取り入れ、課題や模擬体験を通して、自分で調べ、考える力を身につけられるよう努めています。一方、現3年生は最終学年となり、いよいよ卒業研究や卒業制作が始まります。きっと、われわれ教員の期待以上の頑張りや積極性を見せてくれると期待が膨らみます。



広陵町竹取公園ツリーハウス「みんなのひみつきち」が完成

昨年7月、「心わくわくすることをしたい」「みんなを笑顔にしたい」という学生

たちの想いから、このプロジェクトは始まりました。



学生たちは広陵町役場の方々とも何度も打ち合わせを重ね、8月21日から8月31日にかけて、広陵町竹取公園の一角で「ツリーハウス」の製作を行いました。また、そのうち4日間は地元小学生4名が参加し、大学生と一緒に作業を進めました。

初めて触れる道具や、初めて経験する作業に大苦戦しましたが、小学生がデザインした立派な帆を張った海賊船、様々なアイデアが詰まった

立方体の基地、平均台を歩いて進む六角形のトンネルが完成しました。

10月14日には、『みんなのひみつきち』披露式典が行われ、広陵町の山村町長と本学の冬木学長にもご参列いただきました。作業に協力してくれた小学生たちには、感謝状が贈られました。

式典後にはたくさんの子供たちが集まり笑顔で遊んでいる姿を見て、学生たちも大きな達成感を感じることができました。

これらの様子は畿央大学のブログに掲載しておりますので、ぜひ学生達たちの製作物語をご覧ください。

蚕を通してのものづくりと世代間交流

人間環境デザイン学科では授業やゼミ活動の中で、衣服に使われる絹など色々な自然素材の研究に取り組んでいます。学生たちは絹は蚕が作る繊維であるという知識はあるものの、実際に蚕を見たことがある学生はいませんでした。そこで学生が自分たちで蚕を育て絹の素材を知る体験をするため、蚕の餌である桑の木を探していたところ、奈良と三重の県境に位置する山添村に桑の木があるという情報を得ました。すぐに山添村を訪問し、地域の歴史や文化などを研究されている大和高原文化の会の方々とお会いしました。山添村では昭和初期まで養蚕が行われていたということでした。学生にとってはおじいさんほど年齢差のある方々との出会いでしたが、私たちの取り組みに共感し、蚕を育て繭を作ることに協力していただくことになりました。昨年も1万頭の蚕を桑の葉で育て、1万粒の繭をとり、そして学生たちはその繭から、糸を引き、草木で染め、織り機で生地を織り、ウェディングドレス、着物、コートなど感謝の気持ちをこめながら卒業制作

を行いました。また学生たちは文化の会の方々と一緒に、近隣の小学校に出向き、1学期には「蚕の授業」2学期には「真綿づくり」3学期には「真綿を使ったマスコットづくり」の出前授業を行い、この地域で盛んであった養蚕を伝える活動を行っています。この世代間交流は、学生達にとって多くのことを学ぶ貴重な機会になっています。



メッセージ

教育学部
現代教育学科
学科長
安井 義和



後援会の皆様には本学の教育研究活動に、常日頃あたたかなご支援・ご理解を賜っておりますことにお礼を申し上げます。ありが

とうございます。

教育学部の卒業生も教育関係のみならず多方面に就職して頑張ってくれています。各職場でもボツボツ中堅に差し掛かろうかという年齢になっています。少しは足元をじっくりと見ることができ、大学院等で更なる力の充実を図ろうとする卒業生も出てまいりました。

また、在籍学生の教育実習で小学校や幼稚園・保育園に訪問指導に伺いますと畿央大学の卒業生が教員・保育士として活躍してくれている姿を再三見るようになりました。学生時代よりも教育者としての自信に溢れた姿を拝見するのは嬉しい限りです。

社交辞令もありましようが実習校園長先生から、「畿央大出身の先生は頑張っていますよ」なるお言葉を拝聴しますと、誇らしく感じながらも卒業生の頑張りに感謝したいと思います。

4年前から学科定員も増加し、同一科目の開講コマ数も増え、教員の負担も増加しましたが全教職員一致して学生に対応したいと考えています。また、毎夏に行われている保護者アンケートでの貴重なご意見にも少しずつでも対応して行きたいと思っています。

今まで同様のご理解・ご支援を引き続き賜りますようお願いいたします。

いよいよ「せんせい」!

今年度卒業の9期生は、公立小学校教諭が44名(合格率61.1%)、養護教諭が5名(22.7%)、特別支援学校教諭が3名(50.0%)、公立保育所・幼稚園教諭が34名(87.2%)の合格と、昨年度の人数を上回る健闘でした。(2月10日現在)。

今年も、教職に就く4回生に就職前指導「プレティーチャーズ・ガイダンス」が行

われました。不安を和らげ、すぐに活躍できるよう、年度当初の流れ、勤務・休暇、給与、評価育成システム、板書や学級通信、教室環境づくり、学級経営や保健室経営など、多岐にわたる、すぐに役立つものばかりです。学生は真剣な面持ちでした。

卒業前の学生の声です。



アットホームな環境だからこそ築けたこのつながりを今後も大切にします。



同じ志を持った仲間と、私たちを支えて下さる多くの方々のお陰で非常に充実した大学生活でした。教採期間中は、友達同士で何度も勉強会も開きました。先生方には、養護教諭としての専門領域だけでなく、教員や社会人としての資質もご指導いただきました。学生一人一人を温かく見守って下さり、いつも励まし応援していただきました。

この4年間は、本当に充実の毎日でした。保育や教職の授業、採用試験や卒業論文など、いつも何かに追われる日々でしたが、サークル・アルバイト・遊びにも取り組みました。毎週のママポコ親子広場では、子どもの成長や保護者の方との関わりを学べたことがとても大きな収穫でした。

遊びを通した子どもの成長を考え、子どもの姿から学ぶ

「ママポコ・キッズ」、「ママポコ・親子ひろば」では、後期になって新たに1回生も運営のメンバーに加わり、活動に取り組んでいます。

「ママポコ・キッズ」では、地域の子どもたちが多人数・異学年で安心して遊べる場を作り、体を思い切り動かせる遊び、造形遊び、言葉遊び、伝承遊びなどたくさんの種類の遊びを企画しています。



また、「ママポコ・親子ひろば」では、地域の親子(未就園児)が集まる場を設け、親同

士の育児相談などの子育てネットワークを作り、地域の子育てを支援することを目的に活動しています。

どちらの活動も、ただ子どもたちが楽

しく遊べるだけでなく、「遊びを通して子どもたちが成長していけるようにするにはどうすればよいのか」を考えて、毎回のプログラムを作っています。また、学生にとっては、子どもと実際にかかわることによって、大学で学んだことを実践する貴重な経験の場にもなっています。活動後にも振り返りの時間をしっかり取り、教育学部教員のサポートも得ながら、次回に生かす取り組みがなされており、活動を通して学生は大きく成長してくれています。



授業日カレンダー

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表わしています。⑯⑰週は最終授業期間は、定期試験、平常授業、補講が組まれます。ふだんの時間割と異なることもありまので、この期間の時間割は、前期は7月中旬、後期は1月中旬までに掲示します。
注：補講はふだんの授業曜日・時間に関わりなく6時限目や土曜日、祝日などに実施される場合があります。
注：休業日（日曜日・授業のない祝日）の事務取扱は行っておりません。
注：※印のついた日はキャンパスに入ることできません。■は休講日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	1火③	1金⑦	1日	1水⑯	1土	1月②履修登録変更メ	1木⑥	1土⑨	1火元日※	1金⑮	1金
2日	2水④	2土⑦専攻科入試	2月⑪	2木⑯	2日	2火②	2金⑥	2日	2水※	2土⑮	2土
3日	3木入学式	3日憲法記念日	3火⑩	3金⑯	3月③前期成績・後期学納金振込票発送	3水②	3土⑥授業日(文化の日)	3月⑨	3木※	3日	3日
4日	4金みどりの日	4月⑦	4水⑩	4土⑯	4火	4木②	4日⑥指定校・社会人入試	4火⑩	4金	4月⑮	4月
5日	5土こどもの日	5火⑧	5木⑩	5日	5水	5金③	5月⑤	5水⑩	5土⑬	5火⑮	5火
6日	6日	6水⑨	6金⑩	6月⑮	6木	6土③	6火補講日	6木⑩	6日	6水⑮	6水
7日	7月④	7木⑧	7土⑩	7火⑮	7金	7日	7水⑦履修取消期間	7金⑪	7月⑬	7木⑮	7木
8日	8火④	8金⑧	8日	8水⑮	8土	8月	8月⑦体育の日	8土⑩	8火⑬	8金⑮	8金
9日	9水⑤	9土⑧	9月⑫	9木	9日	9火③	9金⑦	9日	9土⑬	9土	9土
10日	10木④	10日	10火⑬	10金	10月	10水③	10土	10月⑩	10木⑬	10日	10日
11日	11金④	11月⑧	11水⑬	11土	11火	11木③	11日	11火⑪	11金⑭	11月	11月
12日	12土④	12火⑨	12木⑬	12日	12水	12金④	12月⑥	12水⑪	12土⑭	12火	12火
13日	13日	13水⑩	13金⑬	13月	13木	13土④	13火⑦	13木⑪	13日	13水	13水
14日	14月⑤	14木⑨	14土⑬	14火	14金	14日	14土⑧	14金⑫	14月	14木	14木
15日	15火⑤	15金⑨	15日	15水	15土	15月③	15木⑧	15土⑪	15火⑭	15金	15金
16日	16水⑥	16土⑨	16月⑬	16木	16日	16火④	16金⑧	16日	16水⑭	16土	16土
17日	17木⑥	17日	17火⑭	17金	17月	17水④	17土⑦	17月⑪	17木⑭	17日	17日
18日	18金⑤	18月⑨	18水⑭	18土	18火	18木④	18日	18火⑫	18金	18月	18月
19日	19土⑤	19火⑩	19木⑭	19日	19水	19金	19月⑦	19土⑫	19土	19火	19火
20日	20月②	20日	20水⑭	20月	20木	20土	20日	20月⑫	20日	20水	20水
21日	21火	21木⑩	21土⑭	21火	21金	21日	21月⑦	21土⑬	21月⑭	21木	21木
22日	22水⑦	22金⑩	22日	22水	22土	22月③	22日	22土⑫	22火	22金	22金
23日	23木⑥	23土⑩	23月⑭	23木	23日	23火	23月⑨	23日	23水	23土	23土
24日	24金⑥	24日	24火	24金	24月	24水⑤	24土⑧	24月⑫	24日	24木	24日
25日	25土⑥	25火⑩	25木⑭	25日	25水	25金⑤	25日	25火	25金	25月	25月
26日	26日	26水⑪	26金⑭	26土	26月	26火①	26金⑤	26月⑧	26水	26土	26火
27日	27月	27水⑪	27金⑭	27日	27木	27土①	27火⑨	27月	27日	27水	27水
28日	28土⑥	28火⑪	28木⑭	28日	28水	28金②	28日	28水⑨	28金	28月⑮	28木
29日	29月⑦	29金⑪	29日	29水	29土	29月②	29月④	29月⑨	29土	29火⑮	29金
30日	30水⑧	30土⑪	30月⑮	30木	30日	30火⑥	30金⑩	30日	30水⑮		30土
31日	31月⑦		31火⑮	31金		31水⑥		31月	31木⑮		31日

後援会事業について

後援会では、家計急変奨学金と学生チャレンジ事業を実施し、畿央大学生を経済的にサポートしています。

家計急変奨学金は、家計の急変により授業料等の納付が困難となった学生に奨学金を支給することにより、修学の継続を支援することを目的とします。学費を負担している父母または保証人がお亡くなりになられた場合、もしくは重度後遺障害を生じた場合、申請により30万円を支給します。

学生チャレンジ事業は、積極性や自主性を有した社会に貢献できる人材を育成するため、学生自らが企画立案する新たな目標に向かった活動に対して支援することを目的とします。事業は、文化・学術活動や地域貢献・ボランティア、国際交流・海外留学、起業・地域活性化など本事業の趣旨に合う目標を設定した活動とします。学生チャレンジ事業は募集期間を2018年4月16日から6月15日までとし、書類選考とプレゼンテーションにより審査を行い、採用されれば必要な諸費用の一部について最大10万円を上限として支給します。事業の活動期間は2018年11月30日までに完了することとしています。

畿央大学建学の精神「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」に則した事業で、畿央生らしい活動が申請されることを期待しています。

冬木学園へのご支援のお願い

冬木学園では、教育・研究環境の整備及び基金の充実を目的とする募金へのご協力を広く皆様方にお願いをしております。

本学園の取り組みをご理解いただき、格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

◎ 税額控除の適用について

平成24年度より本学園は、寄付税額控除制度の適用を受けることのできる学校法人として文部科学大臣より証明されています。個人の方が支出した寄付金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下により算出された額が所得税額から控除されます。

$$(\text{税額控除対象寄付金}^{※1}) - 2,000\text{円}) \times 40\% \\ = \text{控除対象額}^{※2}$$

- ※1 総所得額の40%まで
- ※2 所得税額の25%まで

◎ 寄付のお申込方法

法人事務局長務部(担当：植村・竹本)にお問い合わせ下さい。

TEL : 0745-54-1602

E-mail : soumu@kio.ac.jp

●大学の最新情報は、公式SNSで!

 **facebook**
「畿央大学 / Kio University」

 **twitter**
「畿央大学@KIO_University」

 **YouTube**
「Kio University」

 **LINE**
「畿央大学」